

# 政策目標の達成に向けた主要な留意事項

【説明資料】

平成 14年 8月 2日

# 政策目標の達成に向けた主要な留意事項

主要な留意事項とは、政策目標の実現に向け、

- より実施能力を高めたり、アウトカム指標の向上を促進する事項
- 各種具体的施策を進めるにあたり 配慮すべき事項
- アウトカム指標の向上が妨げられぬよう 留意すべき事項

適切な役割分担による  
連携がベースとなる。

広域的 総合的な視点からの取組の推進

ハード・ソフト一体となった総合的な防災体制の確立

総合的な土砂管理対策の推進

広範囲にわたる大規模な流木等の漂着問題への対応

海岸及びその周辺で行われる様々な施策との連携

地域との連携の促進と海岸を大切にす活動の育成

生物の生息生育環境と調和した海岸づくり

地域が主体となった海岸における活動への支援

海岸における地域の固有の文化の形成

地域特性に応じた海岸利用のルールづくり

地域住民やNPO等の活動との連携を支援する仕組み等の充実

調査研究及び情報提供の推進

各種調査研究の充実

海岸に関する情報の収集、提供、活用の推進

新たな問題に対応する調査研究の推進

その他

事業の進め方 (重点化 効率化)

# ハード・ソフト一体となった総合的な防災体制の確立

施設整備による安全水準 (防護水準) の向上に重点

- 老朽化等により、想定される津波・高潮に対して海岸保全施設が十分な安全水準を提供し得ない場合もある。
- 想定以上の津波・高潮の来襲の恐れがある。
- 海岸利用者等の安全の確保が急務である。

海岸保全施設のみで対処することの限界

ハード・ソフト一体となった総合的な防災体制の確立

- 津波・高潮被害の未然防止
- 速やかな防災体制の構築
- 迅速な避難の実施
- 災害復旧への早期対応

## 総合的な防災対策のイメージ

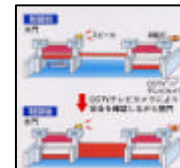
### ハード面の対策

#### 津波・高潮被害の未然防止

- 海岸保全施設の新設
- 暫定施設の早期完成
- 老朽化施設の大規模改修
- 耐震化対策の強化

#### 速やかな防災体制の構築

- 水門、陸こうの自動化
- 情報表示板等の設置
- CCTVカメラの設置



#### 迅速な避難の実施

- 避難経路、避難地の確保
- 防災活動拠点の確保

#### 災害復旧への早期対応

- 応急復旧路の確保

### ソフト面の対策

- 基礎的情報の蓄積、公表
- 防災意識の向上
- 防災知識の普及



- 災害発生情報の提供



- ハザードマップ等による避難方法や防災対応方法に関する情報の提供

- 被災状況の迅速な把握と提供

# 総合的な土砂管理対策の推進

線的防護方式 (堤防、護岸等)  
による海岸保全

- 広域的に顕在化する海岸侵食
  - ✓ 沿岸漂砂の連続性の阻止
  - ✓ 波の遮蔽域の形成
  - ✓ 海底谷への土砂損失
  - ✓ 供給土砂量の減少
  - ✓ 海浜等における砂利採取
- 線的防護方式の限界
- 自然環境、利用との調和の要請

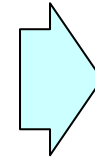


海岸侵食の進行による  
堤防の被災例  
(高知県高知海岸)

離岸堤整備による砂浜の保全 (鳥取県皆生海岸)



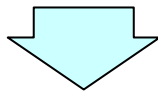
(昭和46年)



(平成12年)

- 砂浜の防護機能の評価
- 砂浜を活用した海岸保全

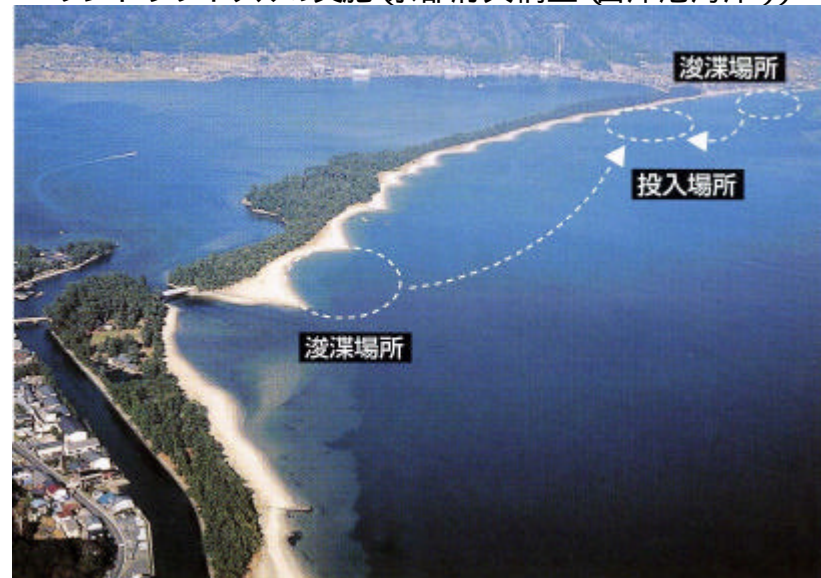
潜堤、人工リーフ等沖合施設との組み合わせ  
による砂浜を主体とした海岸保全の推進



安定な土砂供給、安価な養浜砂の確保が不可欠

土砂の有効利用を図ったシステムの構築  
(サンドリサイクル、サンドバイパス等の実施)

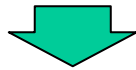
サンドリサイクルの実施 (京都府天橋立 (宮津港海岸))



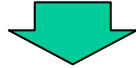


# 広範囲にわたる大規模な流木等の漂着問題への対応

洪水・台風等により、漂着範囲が沿岸の複数の市町村にまたがっているような大規模な漂着流木が発生



海岸保全施設の機能を阻害する恐れ



緊急的に流木等の処理を実施



## 北海道紋別市 紋別港海岸

平成12年9月

洪水による漂着流木

洪水により砂浜に大量の流木が漂着し、砂浜の消波効果が損なわれている事例



## 大分県宇佐市 宇佐海岸

平成9年9月

台風19号による漂着流木

台風時の出水により樋門周辺に大量の漂着流木が発生し、樋門のゲートが閉まらなくなっている事例

## 富山県黒部市 下新川海岸

平成11年7月

洪水による漂着流木

洪水により護岸前面に大量の流木が漂着し、波返し効果が損なわれている事例



## 茨城県大洗町 大買海岸

平成10年8月

洪水による漂着流木

洪水により砂浜に大量の流木が漂着し、砂浜の消波効果が損なわれている事例

# 海岸及びその周辺で行われる様々な施策との連携

## <健康海岸事業>

厚生労働省が指定する健康都市と連携して、海岸を健康増進の場として人々が憩うことのできるよう整備を推進する。



砂浴による健康増進

小野浦海岸  
(愛知県美浜町)

レクリエーション  
による健康増進



蘇崎港海岸  
(広島県東野町)

## <いきいき 海の子 浜づくり>

文部科学省所管の教育施設と連携し、世代間の交流の場、自然・社会教育活動の場、マリンスポーツの場として利用しやすい海岸づくりを行う。



大浦港海岸 (佐賀県太良町)

## <自然豊かな海と森の整備対策事業>

林野庁所管の治山事業と連携することにより、自然豊かな利用しやすい海岸環境を創出する。



四倉海岸 (福島県いわき市)



# 生物の生息生育環境と調和した海岸づくり

地域住民やNPO等の参画によるモニタリングの実施等を踏まえた海岸保全施設を整備するエコ・コースト事業制度を活用し、自然再生型海岸づくりを推進する。



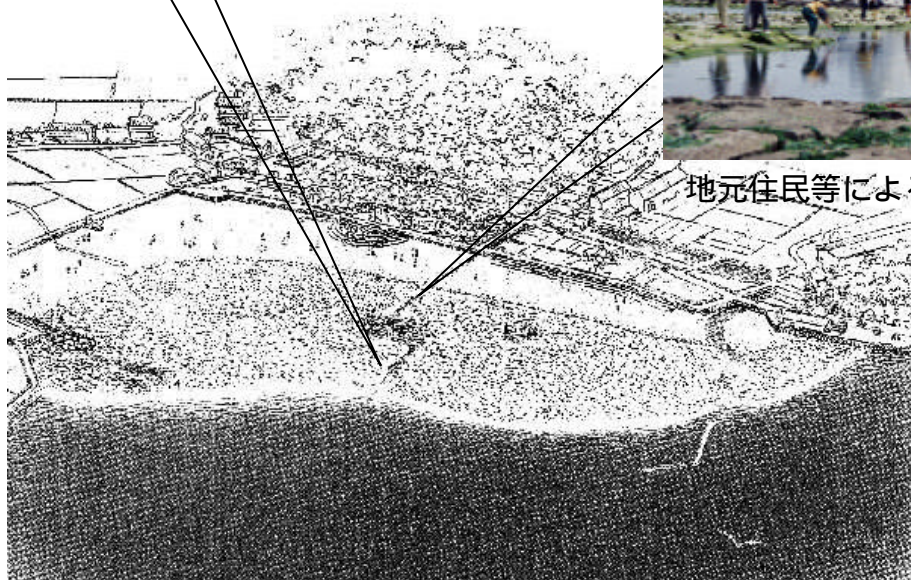
NPO等によるモニタリング



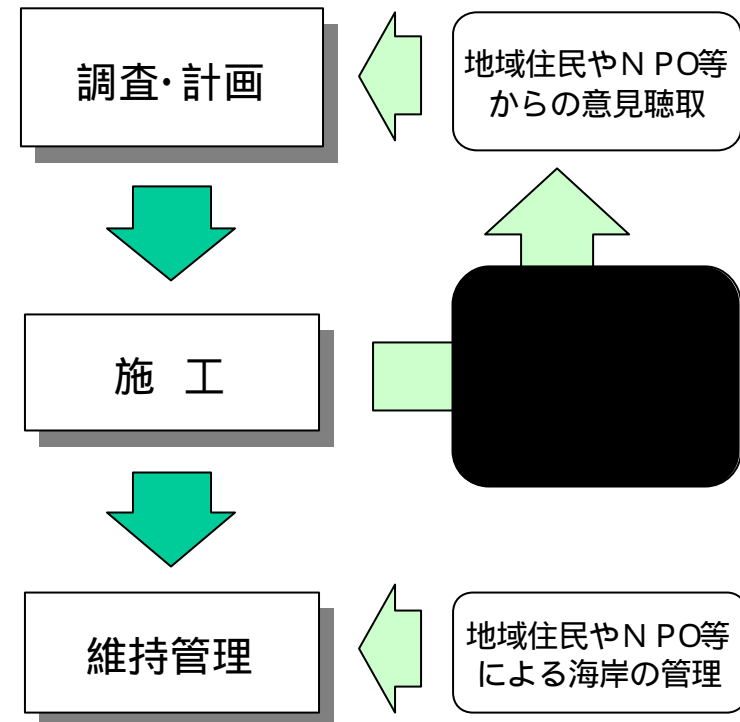
住民等の参画による計画策定



地元住民等による清掃活動



自然再生型海岸づくりにおける  
地域住民やNPO等の参画



# 地域が主体となった海岸における活動への支援

～愛知県赤羽根町・「あかばね塾」による海岸環境教育活動の実施例～



エコオリエnteeringとしてビーチクリーンアップや  
散乱ゴミの分類調査を実施



アカウミガメの産卵ふ化調査、チラシ配布などにより  
身近な環境に関する啓発活動を実施



ライフセイビングに対する認識を深めるために、  
砂浜を利用したビーチフラッグス大会を開催



# 海岸における地域の固有の文化の形成

地域固有の文化の伝承を支える地域住民やNPO等の活動の基盤づくりの支援に努める。



種子島鉄砲まつり舟漕ぎ大会 (鹿児島県西之表市西之表港海岸)



ガタリンピック (佐賀県鹿島市七浦海岸)



熱海 冬花火 (静岡県熱海市熱海港海岸)



裸祭り (千葉県大原町日在浦海岸)

# 地域特性に応じた海岸利用のルールづくり

広域的な利害調整を伴うような性質のものではない海岸管理に係る事務については、祭りや行事の場として地域づくりの観点から、市町村長が海岸管理できるようになった。

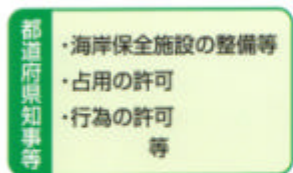
## 改正前の海岸法における市町村長の海岸管理

海岸保全区域の管理（第5条）

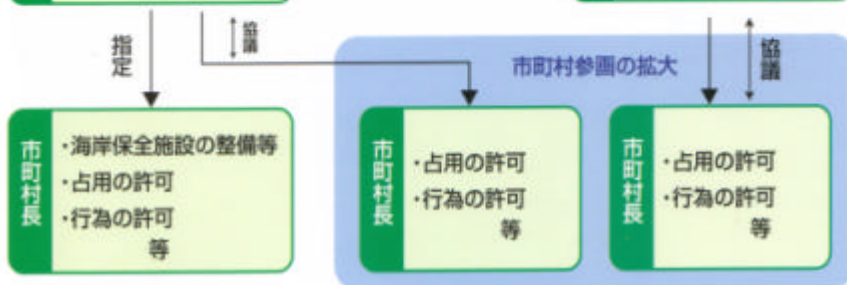
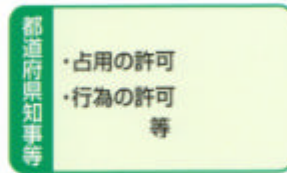


## 改正後の海岸法における市町村長の海岸管理

海岸保全区域の管理（第5条）



一般公共海岸区域の管理（第37条の3）



## 市町村による一般公共海岸区域の管理の例

～ 琴引浜（京都府網野町）～

- ・環境保護対策審議会（町民10名）
- ・京都弁護士会、龍谷大学法学部 共同研究
- ・「きれいな海とまちづくりシンポジウム」



## ポイ捨て等の禁止

### 自然環境の保全

- ・特別保護区域の指定  
喫煙、花火、キャンプ、炊飯の禁止等
- ・環境保護団体の認定  
パトロール、指導、啓発



# 地域住民やNPO等の活動との連携を支援する仕組み等の充実

～ 兵庫県淡路町・いきいき 海の子 浜づくり」田之代海岸懇話会における計画段階からの地域住民の参加事例 ～

## 目的

海岸の整備計画の策定にあたって、行政からの一方的な計画提示ではなく、住民参加型の計画づくりを行い、住民等が海岸の管理に自ら参加し、持続的に関わる仕組みづくりを目的としている。

## 構成員

地元幼稚園の父兄、小中学校のPTA、学識経験者、漁業組合、観光協会、商工会、老人会、婦人会、兵庫県、淡路町

## 活動の内容

- 懇話会会報「田之代海岸ニュース」を作成し、町内全戸に配布
- 女性の意見を聴くため、女性懇話会も開催
- CG、模型等を活用して、海岸の整備・保全について、議論を展開
- 周辺の小学生による海岸観察・海岸清掃等の体験学習を実施



懇話会の様子

(海岸管理について、今後も継続的に議論できるかが課題)



ヒラメ稚魚放流(平成13年5月)

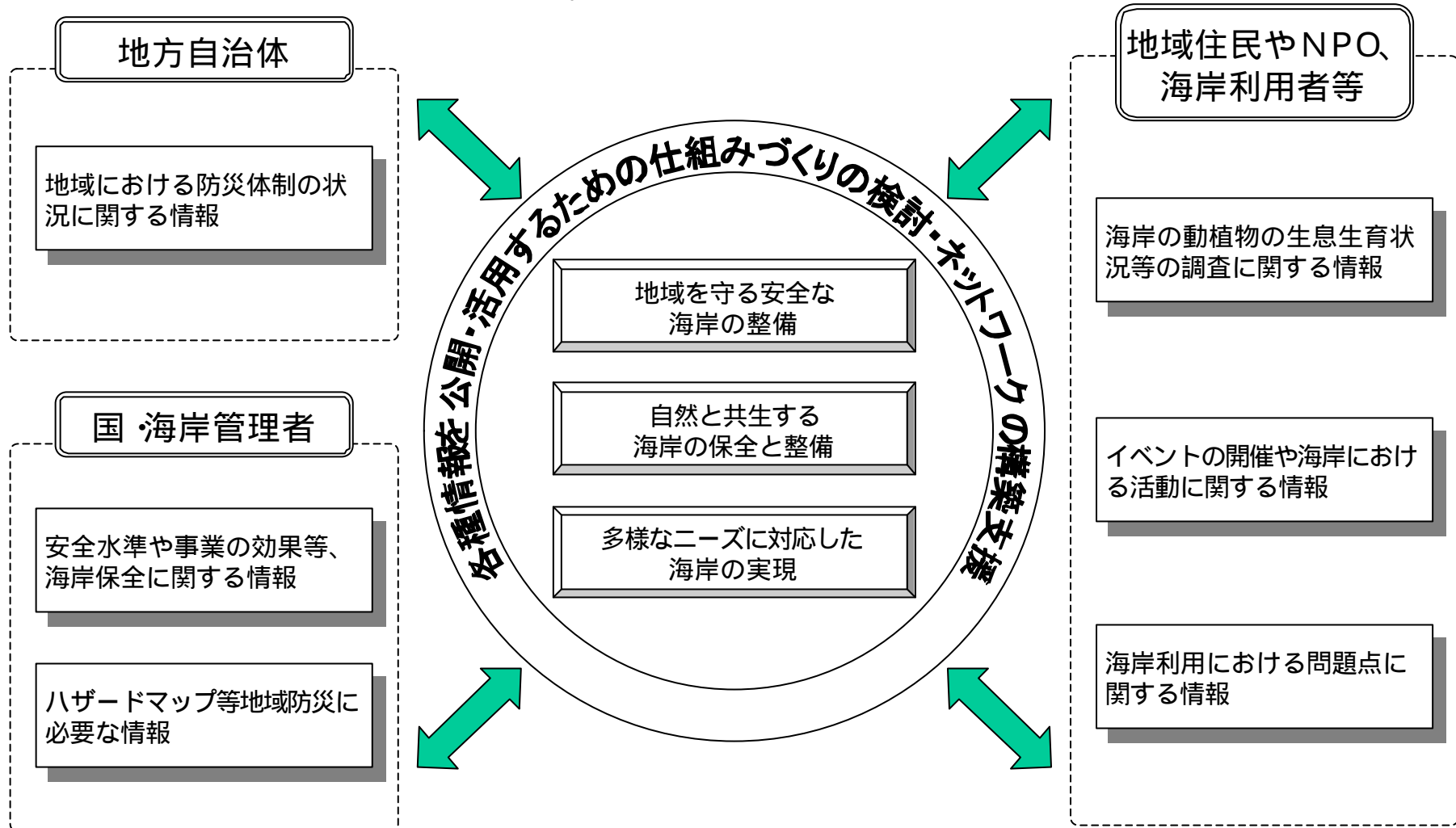
ヒラメをシンボル生物として海岸環境に関心を抱いてもらうきっかけづくりがねらい





# 海岸に関する情報の収集、提供、活用の推進

地域住民やNPO等への情報の提供はもちろんのこと、地域からの情報を収集、活用していくための情報ネットワークの形成が重要である。

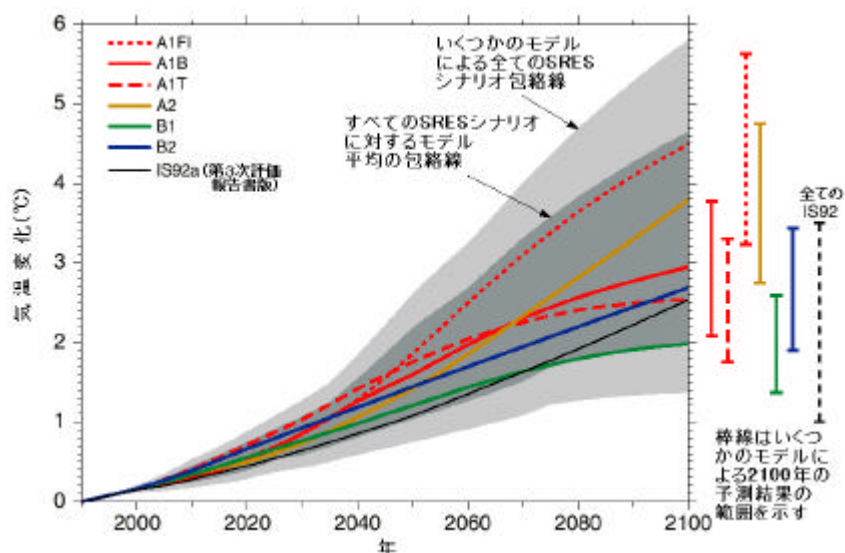


# 新たな問題に対応する調査研究の推進

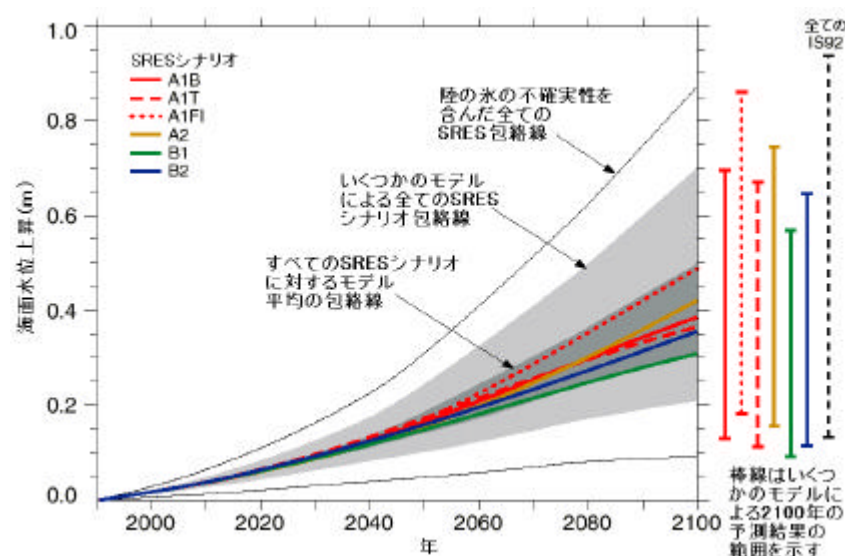
～ 地球温暖化に伴う気象・海象の変化への対応～

## IPCC第三次報告における平均気温・平均海面水位の上昇量の予測

### 1.5～5.8 の気温の上昇予測



### 9cm～88cmの海面水位の上昇予測



出典：20世紀の日本の気候(気象庁)

さまざまな気候モデルやシナリオを用いて、地球全体の気候の変化予測がされている。対策次第で気温上昇は抑制されるが、海面水位は引き続き上昇すると予測されるため、次の課題に対する検討が必要となる。

- いつから対策を開始すべきか
- いつまでに対策を終了すべきか
- どのような対策をすべきか
- 対策必要量はどの位か

# 事業の進め方 (重点化 効率化)

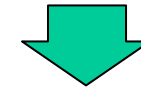
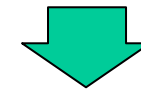
## リサイクル・リユースの徹底によるコスト縮減の取組

公共事業におけるゼロエミッションに向け、海岸工事から発生する消波ブロックやコンクリート殻等を建設資材として積極的に活用すること等により、建設廃材を発生抑制し、環境負荷の低減を図るとともに、コストの低減を図る。

### 【事業の概要】

#### 「なぎさリフレッシュ事業」等の推進

消波工などとして使われていた異形ブロック等を沖合施設である離岸堤や人工リーフの構成材料として有効にリユースすることにより、環境負荷の低減を図るとともに、海浜へのアプローチと海浜空間に優れたなぎさの再生に資する。



消波ブロック等を沖合の人工リーフ  
(海面下)にリユース